

(様式第1号)

みなとSDGsパートナー 登録申請書

2022年 9月 2日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企業・団体名	美須賀海運株式会社
所在地	東京都千代田区富士見 2-2-5 飯田橋メインビル 5F
代表者役職・氏名	代表取締役社長 岩井 正実
担当者連絡先	電話：03-3261-6355 (担当：川内)
	メール： sdgs-project@misuga-kaiun.co.jp
ウェブサイトURL	https://misuga-kaiun.co.jp/

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

<p>美須賀海運は、1994年に設立された外航海運事業会社です。 国際航海に従事する約130隻の船舶管理業・船員配乗業を行っており、 そのうち24隻を保有し、船舶貸渡業も行っています。海外にも拠点を展開しており、オランダの現地法人では大西洋航路を航海する船舶の管理業務を行い、フィリピンの現地法人では、船員を直接雇用して船員の育成および教育に取り組み、顧客ニーズへの対応と輸送品質の向上に努めています。</p>

3側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標
✓環境 ✓社会 ✓経済	自社養成を強みとした船員育成と社員の職場環境を整備する	① 自社マンニング、管理会社での船員教育強化 ② フィリピンでの慈善活動の継続 ③ 国籍・性別問わず、働きやすい環境づくり
✓環境 □社会 □経済	環境汚染対策とカーボンニュートラルに向けた取組	① エコシップ（低燃費チップ船）の所有・管理 ② 国際的規則に遵守し、環境負荷の低減を目指す
□環境 ✓社会 ✓経済	環境マネジメントシステムを運用し、充実した管理サービスを提供する。	① 国内外の地域業者との連携の維持 ② ISO認証(9001&14001)の継続と運用

SDGs達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所在地： 東京都千代田区富士見 2-2-5
飯田橋メインビル 5F

名称： 美須賀海運株式会社

代表者： 代表取締役社長 岩井 正実

登録年月日： 2022年9月21日

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第7条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標	指標の進捗状況
✓環境 ✓社会 ✓経済	自社養成を強みとした船員育成と社員の職場環境を整備する	① 自社マンニング、管理会社での船員教育強化 ② フィリピンでの慈善活動の継続 国籍・性別問わず、働きやすい環境づくり	・教材および教育設備を一新し、教育環境の品質向上を実施。 ・2023年度の活動として自社マンニング社員および駐在員にて貧困地域へ赴き、食料などの支援を目的とした”Outreach Program”を実施。 ・外国人社員に向けた日本語教室の開催
✓環境 □社会 □経済	環境汚染対策とカーボンニュートラルに向けた取組	① エコシップ（低燃費チップ船）の所有・管理 国際的規則に遵守し、環境負荷の低減を目指す。	・エコシップを継続運用し、自社船のCO2排出量の削減に努めた（前年比85%(15%減)）。
□環境 ✓社会 ✓経済	環境マネジメントシステムを運用し、充実した管理サービスを提供する。	① 国内外の地域業者との連携の維持 ISO認証(9001&14001)の継続と運用	・環境配慮型の造水装置を船舶に導入して飲料水(プラスチックボトル)の購入を削減。 ・企業版ふるさと納税にて「地域再生計画」事業に関する寄附を行った。

SDGs達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所在地： 東京都千代田区富士見 2-2-5
飯田橋メインビル 5F

名称： 美須賀海運株式会社

代表者： 代表取締役社長 岩井 正実

登録年月日： 2022年9月21日

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第7条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標	指標の進捗状況
✓環境 ✓社会 ✓経済	自社養成を強みとした船員育成と社員の職場環境を整備する	① 自社マンニング、 管理会社での船員教育強化 ② フィリピンでの 慈善活動の継続 国籍・性別問わず、働きやすい環境づくり	・外航船員を対象に Health Campaign を実施し、心身の健康に対する意識を高めた。 ・船員労働環境改善のため外部から医師を招いたメンタルヘルスケアの講座を開設し、乗船前の必須研修とした。
✓環境 □社会 □経済	環境汚染対策とカーボンニュートラルに向けた取組	① エコシップ(低燃費チップ船)の所有・管理 国際的規則に遵守し、環境負荷の低減を目指す。	・エコシップを含む自社船を効率的に運用及び船体外板プラスチック処理など燃費改善に努め、CO2 排出量削減を維持した(前年比 98%(2%減))。
□環境 ✓社会 ✓経済	環境マネジメントシステムを運用し、充実した管理サービスを提供する。	① 国内外の地域業者との連携の維持 ISO 認証(9001&14001)の継続と運用	・本社のある四国中央市の発足 20 周年を記念したイベントに参加し、仕事体験を通じて外航船運航及び物流の魅力を紹介した。 ・24年11月に産業祭において RORO 船見学会を実施する。

SDGs達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所在地： 東京都千代田区富士見 2-2-5
飯田橋メインビル 5F

名称： 美須賀海運株式会社

代表者： 代表取締役社長 岩井 正実

登録年月日： 2022年9月21日

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第7条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標	指標の進捗状況
✓環境 ✓社会 ✓経済	自社養成を強みとした船員育成と社員の職場環境を整備する	① 自社マンニング、管理会社での船員教育強化 ② フィリピンでの慈善活動の継続 国籍・性別問わず、働きやすい環境づくり	・外航船員を対象に Health Campaign を実施し、心身の健康に対する意識を高めた。 ・24時間遠隔医療受診が可能なサービスを自社船数隻に導入した。
✓環境 □社会 □経済	環境汚染対策とカーボンニュートラルに向けた取組	① エコシップ(低燃費チップ船)の所有・管理 国際的規則に遵守し、環境負荷の低減を目指す。	・エコシップを含む自社船を効率的に運用及び船体外板ブラスト処理など燃費改善に努め、CO2排出量削減を維持した。 ・LNG(液化天然ガス)を主燃料とする石炭輸送船を所有開始した。
□環境 ✓社会 ✓経済	環境マネジメントシステムを運用し、充実した管理サービスを提供する。	① 国内外の地域業者との連携の維持 ISO認証(14001)の継続と運用	・大王海運レディスオープン開催とSDGsブース展示(2025年4月) ・みなと祭参加(2025年7月) ・万博 Teamexpo に大王海運グループとして参加(2025年8月)